



世界に希望を生み出そう

<本年度クラブ会長方針>

繋ごう『クラブの心』、築こう『クラブのさらなる繁栄』を

承認 1985年2月12日 例会日 木曜日 12:30 例会場 名古屋東急ホテル
会長 丹下富博 事務局 名古屋市中区栄4-7-10 栄第8口イナルビル6F
幹事 大上晃延 電話(052)251-0181 FAX (052)251-0337 〒460-0008
URL http://www.nagoya-osu.org E-mail office@nagoya-osu.org

第1938回例会

ロータリー親睦活動月間

令和6年6月13日(木)

SPEAK OUT DAY

於名古屋東急ホテル

出席計算数 会員66名

62名中49名出席

出席率 79.03%

前々回出席率 90.00%

0.03%

例会プログラム

★新会員卓話

★諮問委員会卓話

ロータリーソング

「奉仕の理想」

指揮者 松本 哲朗

ピアノ伴奏 富板 玲子

ニコソックス

尾上さん答申よろしくお願ひ致します。榎原さん卓話楽しみです。

丹下 富博・大上 晃延

藤田 澈・安江 優

林 順治・西脇 良輔

深谷 昭広・横井 衛

吉田 憲一・松井 健

杉本 忠夫・河合 誠弥

公共イメージ向上委員会の皆様

お世話になりました。木村 吉伸

草野さんお世話になりました。

岡部 快園

尾上委員長卓話ありがとうございました。

岩崎 征一

卓話やらせてもらいます。

尾上 昇

会長挨拶

令和6年1月11日にクラブ戦略委員会 委員長 尾上 昇さん

宛に「将来社会を見据えたクラブ運営の在り方について」諮問をいたしました。委員会メンバーは岡

村副委員長、当該年度次々々年度の会長・幹事その他関係委員会

委員長でお願いいたしました。

「諮問内容」

今後の我がクラブの運営については、あらゆる側面において、これまでの仕組みの延長線上では対応できない事態に直面することが想定され、今まさに転換点に立っていると考えております。

とりわけ会員数は、我がクラブが直面する最大の課題です。本日現在の会員数は65名ですが、本年度の純増は5名に留まっています。本年度の入会者は10名増ですが、退会者から名でしており、とりわけ

新会員卓話がんばります！

榎原 陽子

誕生月です。 飯田 昭夫

退会者3名のロータリー歴は18年以上、2名は3年未満です。会員の現在の平均年齢を考えると、このよくな状況が続くことも予想され、我がクラブは、まさに瀬戸際と呼びべき状況に置かれていると言えます。

こうした状況に歯止めをかけ、会員減の流れを反転させるために、このクラブ戦略委員会には会員増強プロジェクトを立ち上げてこの1年間会員増強対策に丸ごと取り組んでいただきました。

また、会員増強対策以外にも、ロータリー活動を取り巻く状況は大きく変化しています。コロナ禍を契機として遠隔例会が急速に普及し、その可能性と課題が明確になったことは、例会場に集まっていられなかった従来のロータリーの在り方を抜本的に変えることも可能となりました。

また、ウクライナ情勢をはじめ国際情勢が不安定化し、世界経済の停滞や国際的分断の進行の懸念も高まっている中で、交換留学生の交流や国際交流も大きな転換期を迎えています。加えて、我が国の経済力低下が指摘されている中で、ロータリー活動の資金の確保が喫緊の課題となっています。

以上のような問題意識の下、短中期的な観点から、概ね次々年度以降の運営を見据えて、目指すべ

き我がクラブの姿やそれを表現するための方策などの我がクラブの在り方について「議論」検討を書き作成いただきました。

この後、「披露」いただきます。よろしくお願ひ申し上げます。

「いきいき元気な組織づくり」株式会社マザリーフ 榎原 陽子

私もマザリーフは客室業務員の経験を生かして、いきいき元気な組織づくりのプロフェッショナル集団です。

主な業務内容としては、プロによる覆面調査をもとにしたマネージャーご提案と実施、組織診断ツールをもとにホスピタリティマインドを醸成するコミュニケーション研修、リーダー育成研修等を行っています。

現在、少子高齢化、多様化の時

現在、少子高齢化、多様化の時



以上のような問題意識の下、短中期的な観点から、概ね次々年度以降の運営を見据えて、目指すべ



現在、少子高齢化、多様化の時

代、人財育成の方法は大きく変化を  
しています。そこで注目されて  
いるのがウェルビーイング（心身  
が健康で幸福である状態）です。  
幸福度の高い社員の創造性は3  
倍、生産性は31%、売上は37%  
高く、欠勤率は低く、離職率が低  
いと言われています。

直属のリーダーの関わりを通じ  
て、存在感を高め、不安感を下げる  
コミュニケーションを身につけ、  
人と人との関係の質を高めていく  
ことが、ウェルビーイングな組織  
となり成果をもたらすのです。

**諮問委員会卓話**

諮問委員会委員長 尾上 昇  
母下会長からの諮問発言

「将来社会を見据えた  
クラブ運営の在り方」

1. コロナ禍も含めてロータリーを  
取り巻く環境の変化。
2. 各クラブの自由裁量も  
増えている。
3. 国際情勢不安で  
国際交流事業も変換期。



4. ロータリーもこれまでの延長線  
上では、難しい。

5. 我がクラブの課題は、何と言っ  
ても会員減。

6. これからの観点から、短・中期の  
ビジョンを検討して欲しい。

(令和6年1月11日)

**諮問委員の構成**

- |      |      |
|------|------|
| 委員長  | 尾上 昇 |
| 副委員長 | 岡村隆徳 |
| 委員   | 飯田昭夫 |
|      | 木村吉伸 |
|      | 杉本忠夫 |
|      | 松岡 毅 |
|      | 岩崎征一 |
|      | 丹下富博 |
|      | 大上晃延 |
|      | 山口正孝 |
|      | 岡部快雅 |

**第1回検討会**

2月3日10時00分～11時00分  
於 大須観音講堂

**議題**

- (1) クラブの現状と課題
- (2) 今後の方向性
- (3) 今後のスケジュール
- (4) その他

**第2回検討会**

2月29日13時40分～14時40分  
於 事務局

**議題**

- (1) 新しく入った会員に、どのよう  
にロータリーの理念を理解して  
もらうか。また、大須クラブとし  
ての理念は何か。そしてその必  
要性は。(具体的な指針の創出)。

(2) 5年後の大須クラブの姿は。  
(理想の姿)。

- ・ 会員に関して(会員数、会員増  
強、退会防止、高齢会員の居場  
所作り)。
- ・ 当クラブの魅力(US)。
- ・ 会員のコミュニケーション  
US。

- (3) 予算について(財務問題)。
- (4) ロータリー活動の在り方  
(全会員の参加型、時間)。

**第3回検討会**

5月16日13時40分～14時50分  
於 事務局

**議題**

- 短中期のクラブ運営の在り方  
総括(5つのカテゴリー)
1. 会員に関する事項
  2. クラブの運営に関する事項
  3. クラブの活動事業に  
関する事項
  4. 財務に関する事項
  5. クラブの理念やアイデンティ  
ティに関する事項

**まとめ**

1. 今回の答申では、課題の抽出と  
解決策の指針を示した。
2. これらの具体的な方策の決定や  
明文化・文章化はしていない。
3. これらの具体的な方策の決定や  
明文化・文章化は、この答申を受  
けて次年度のクラブ戦略委員会  
の手にゆだねる。

**その他・お知らせ**

2025年ロータリー国際大会  
(カナダ・カルガリー)

2025年6月21日～25日  
スタンピード・パーク  
Stampede Park

登録料

クラブ会員または同伴者

2024年5月30日～12月15日  
(31歳以上) \$5025

2024年12月16日～  
2025年3月31日  
(31歳以上) \$625

2025年4月1日～6月25日  
(31歳以上) \$695



6月27日(木)例会の案内  
定款規定により休会

7月4日(木)例会の案内

次年度会長・幹事所見

次年度会長 飯田 昭夫さん

次年度幹事 木村 吉伸さん

7月11日(木)例会の案内

次年度委員長所見

次年度委員長 加藤 巳彦さん

次年度社会奉仕委員長

田崎 雅三さん

次年度国際奉仕委員長

木村 光徳さん

**麻雀同好会第53回例会**

令和6年6月13日(木)  
於 一富士

- |      |          |
|------|----------|
| 優勝   | 柴岡 正将 さん |
| 準優勝  | 荻菜 賢二 さん |
| 3位   | 杉本 忠夫 さん |
| 7位   | 岡村 隆徳 さん |
| B.B. | 河合 誠弥 さん |

新会員の方も参加してにぎやかに  
開催されました。会員募集中です!



次年度青少年奉仕委員長

渡辺 観水さん

次年度クラブ戦略委員長

岡部 快雅さん

公共イメージ向上委員会

近藤 明美・小澤 幸男

松本 哲朗・桑山 光俊

\*本文は、原則 頂いた  
原稿を転載しています。